

日本において加速化するサステナビリティ経営 ～ ESG/CSVを経営戦略に取り込むために～

日時： 2017年12月11日(月) 14:30～17:00 (受付開始14:00)

主催： デロイトトーマツコンサルティング合同会社／有限責任監査法人トーマツ

場所： 東京・有楽町電気ビル 北館17F セミナールーム(17-03,17-04)

2017年7月、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は日本株のESG投資インデックスを3つ選定しました。同法人が2年前に国連の責任投資原則(PRI)に署名したことで確実となった「ESG投資」が、日本でも本格化することとなります。資本市場においては、機関投資家より環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する非財務情報の開示と、これを裏付ける企業戦略に関する対話・関与を求める動きが強まっており、ESGを「本業」に統合し、競争優位、売上/利益拡大に繋げるCSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)経営が問われています。

本セミナーにおいては、GPIFが採用したMSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数、MSCI日本株女性活躍指数を発行しているMSCIより、ESGリサーチ ヴァイスプレジデント鷹羽氏をお招きし、資本市場の観点からESGを巡るグローバル・国内のトレンド、ESGリサーチの評価手法、開示の重要性やSDGsの取組みへの評価について解説いただきます。その後、デロイトトーマツグループの専門家よりESG対応の強化に求められる戦略・個別施策・開示アプローチや、マネジメント層が採るべきCSV・イノベーション戦略のあり方について解説します。

プログラム

オープニング

ゲスト 講演

14:35 ~
15:15

資本市場から求められるESG経営 MSCI バイス・プレジデント 鷹羽 美奈子 氏

ESGに対する投資家の期待が高まる中、ESGをリスクとしてだけでなく、企業戦略の一部として捉えることが求められています。グローバルに多くの投資家を顧客に持つMSCIより、ESGリサーチの評価手法と投資家の活用事例、そしてESG格付けとパフォーマンスとの関係について解説します。

(Keyword : ESGリスク、ディスクロージャー、グローバルスタンダード、SDGs)

講演

15:15 ~
15:55

ESG経営への道標

有限責任監査法人トーマツ 執行役員 パートナー 達脇 恵子

企業の持続的な成長と企業価値の向上に向けて、ESGを深く経営に取り込むことが求められており、自社のミッション・ビジョンや中長期的なリスクと機会に基づいて、バリュードライバーとなりうるESGテーマを見極める必要があります。多数のアドバイザー業務実績に基づく施策をご紹介します。

(Keyword : マテリアリティ、グローバルガバナンス、サプライチェーンリスク評価)

休憩

講演

16:10 ~
16:50

Beyond 2020の経営のあり方と先進事例

デロイトトーマツコンサルティング 合同会社 執行役員 パートナー 藤井 剛

サステナビリティは、もはや単なる外部からの要請ではなく、本質的な社会価値の創出に向けたイノベーション、ブランディングなどの分野で競争上不可欠なものとなりつつあります。グローバルなトレンドと、デロイトが提唱する考え方及び日本における先進事例をご紹介します。

(Keyword : CSV、SDGs、サステナビリティ、サーキュラーエコノミー、イノベーション、ブランディング)

16:50 ~
17:00

質疑応答

➤ 講演テーマ・講師は変更となる場合がございます。

講師略歴



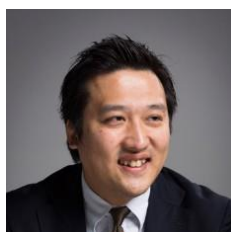
MSCI Inc. ESGリサーチ ヴァイスプレジデント、日本株リサーチ統括 鷹羽 美奈子 氏

2002年横浜国立大学大学院国際社会科学部会計経営システム専攻修了(経営学修士)。KPMG AZSA サステナビリティにてCSRコンサルタント業務に従事し、その後Vodafone Japan/ソフトバンクモバイルCSR 担当職を経て、2007年よりRiskMetrics Group(現MSCI Inc.)にてESGリサーチに従事。主にトレーディングカンパニー、自動車・自動車部品、小売業インダストリーを担当している。また、現在は全インダストリーの日本株リサーチも統括する。



有限責任監査法人トーマツ 執行役員 パートナー デロイトトーマツ サステナビリティ株式会社 代表取締役社長 達脇 恵子

ESG(環境・社会・ガバナンス)、リスクマネジメント、内部統制などの各種ガバナンス関連のコンサルティングに従事。現在はデロイト サステナビリティ 日本統括責任者としてクライアントのESG領域における取り組みを支援している。主な実績はCSRレポート・統合報告書の作成コンサルティングやマテリアリティ評価を含むCSR戦略立案コンサルティング、およびその企業戦略への組み込み支援等。主な著書に、『水リスク 大不足時代を勝ち抜く企業戦略』(共著、日本経済新聞出版社)他多数。



デロイトトーマツ コンサルティング 合同会社 執行役員 パートナー Deloitte Innovation Practice Japan リーダー 藤井 剛

社会課題解決・社会価値創出を軸とする経営モデルや、企業とNPO/NGO、政府/国際機関とのトライセクター連携によるイノベーション戦略論を提唱。日本企業のイノベーション力強化に向けたトップマネジメント主導でのイノベティブな組織創りや、シリコンバレー・イスラエル等のベンチャー企業とのオープンイノベーション支援、日本各地域の都市を核とした新産業創造にも多くの経験を有する。主な著書に、『Creating Shared Value : CSV時代のイノベーション戦略』(ファーストプレス)他多数。

申込要綱

■ 申込URL <https://www2.deloitte.com/jp/semi4105>

※お申込は株式会社シャノンのサービスを利用しています。ご記入いただく内容はSSL暗号化通信により内容の保護を図っております

ログインID/パスワードをお持ちの方 : 過去にデロイトトーマツ グループのセミナーにお申込いただき、ログインID/パスワードをお持ちの方は、申込URLよりログインしてください。

ユーザー登録をされていない方 : 申込URLより[新規ユーザー登録はこちら]をクリックし、ログインID/パスワードを設定してユーザー登録を完了後、セミナーにお申込ください。

■ 申込締切 2017年12月7日(木)

■ 定員 100名

※お申込み多数の場合は、やむを得ず抽選とさせていただきます。また、同業者の方のお申込みはご遠慮ください。

■ 受講料 無料

■ アクセス 有楽町電気ビル 北館17F

セミナールーム(17-03,17-04)

- ・JR山手線 有楽町駅 日比谷口から徒歩1分
- ・千代田線・日比谷線・三田線 日比谷駅、有楽町線 有楽町駅、A3出口から有楽町電気ビル地下1F直結

■ お問合せ先

デロイトトーマツ コンサルティング 合同会社 セミナー事務局

E-mail: dtc_seminar@tohmatu.co.jp

TEL: 03-4218-4685 (電話によるお問合せ受付時間: 平日10:00~11:45、12:45~17:00)



デロイトトーマツグループは日本におけるデロイトトウシュートーマツリミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームであるデロイトトーマツ合同会社およびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイトトーマツ税理士法人、DT弁護士法人およびデロイトトーマツコーポレートソリューション合同会社を含む)の総称です。デロイトトーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約40都市に約11,000名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイトトーマツグループWebサイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイトトウシュートーマツリミテッド("DTTL")ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数を含みます。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitteのメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。